

(令和元年 6 月試験研究業務月報)

試験研究課題：タスクチーム活動

「阿蘇海で発生するアサリ稚貝の有効利用技術の普及」

情 報

阿蘇海でのアサリ稚貝採集・販売を開始

近年、養殖用アサリ稚貝が全国的に不足していることから、春～初夏に阿蘇海沿岸で大量に発生し、その後盛夏までには魚の食害等で死滅してしまう稚貝を効率的に採集・販売するビジネスを後押しするため、海洋センター・水産事務所では技術開発とその普及に努めてきました。今年もタスクチーム活動として、採集・販売が漁業者主体で行われるための体制づくりを行っています。

昨年 7 月豪雨の影響で今年の稚貝発生量が激減したことから、少しでも採集量を増やすために、設定した区画内の稚貝を徹底的に採集する手法を漁業者に指導しました。毎日の区画設定、購入希望数に合わせた採集調整、販売先との折衝を漁業者自身に行ってもらい、6 月下旬までに合計約 60 万個の稚貝を府内外の養殖業者に販売しました*。

7 月下旬の採集・販売終了まで指導を継続し、さらなる生産量の増大を目指します。

※府内の漁業者に販売した稚貝は舞鶴湾や久美浜湾で養殖され、来年の春頃には大型で身入良好な養殖アサリとして出荷される予定です。



稚貝の採集現場（左）と選別され出荷を待つ稚貝（右）

海洋センター